

支笏湖ビクターセンターで西川惟和会員の作品展

「カムイモシリのカムイたち」と題した展示が、6月29日まで支笏湖ビクターセンターで開催された。

北海道知事認定アウトドアガイド・西川惟和会員の、木彫り作品などが展示されていた。



れ独自の「カムイモシリ」を持つと考えられてきた。カムイモシリは一つの特定の場所ではなく、自然界の至る所に存在する神々本来の居場所として捉えられて、日本のあらゆる物に靈魂や精神的存在が宿るといふ考え方が、アイヌの世界観と共鳴している点にも言及があった。

津軽海峡を渡った経験にとどまらず、樺太、朝鮮、さらには沖縄との間で、昆布などの海産物や白滝・置戸・十勝・赤井川などから採れる黒曜石を運び、米、酒、塩、鉄製品、布類、衣服、陶磁器、漆器などを得る交易が行われていたことも紹介した。

この緻密な作品群の制作と、アイヌ文化や歴史の研究に注がれた時間と労力は、強い情熱と深い探究心を物語っている。

さらに、原点回帰ではないが、機械を含む全ての物に神が宿るといふ考え方のもと、物を粗末に扱わないように教えられ育てられた記憶がよみがえった。

活にも触れた。当時、日本はジュネーブ条約を批准していなかったが、アメリカとイギリスはジュネーブ条約を日本に適用すると通知し、日本もこれを順守する旨を伝えた。

千島列島最北端の占守島に侵攻したソ連軍に迎撃した。しかし、22日、大本営はすべての戦闘停止を命じた。その結果、占守島では23日にソ連との停戦が合意され、極めて優勢な日本軍が、極めて劣勢なソ連軍に武装解除されるという珍事が生じ、日本固有の領土は、今でも不法占拠されている。

この結果、ドイツ降伏の3ヶ月後にソ連が対日戦に参戦することと合意が成立した。

この内容は、2017年12月30日付の北海道新聞をはじめとする北海道の地方紙の朝刊で報じられたが、全国紙では一切取り上げられなかった。

一方、ソ連の政府機関紙「プラウダ」は、1945年9月3日付の社説において次のように論じている。「占守島の戦いは、満洲や朝鮮における戦闘よりもはるかに損害が甚大であった。8月19日は、ソ連人民にとって喪の日である。」

恵庭の土魂と占守島(しゅむしゅ)の土魂【アメリカとソ連の秘密協力】

千歳市に隣接する恵庭市には、砲塔に「土魂」と書かれている第11戦車隊が駐屯している。この「土魂」は、「十」と「一」を組み合わせて「土」と読ませたこと由来する。

このコラムは、50年前に学友の父が涙ながらに語ってくれた内容がきっかけになっている。彼は初め、誇らしげに「俺は土魂部隊の戦車乗りだ」と語り、

ながら、池田連隊長の訓示を諷んじた。「俺たちは「オオ」の声と一緒に手を上げた。俺たちは敵を押し返した。その後、ため息と共に吐き捨てるように言った。「それから、ラグリだ」。

「俺たちは「オオ」の声と一緒に手を上げた。俺たちは敵を押し返した。その後、ため息と共に吐き捨てるように言った。「それから、ラグリだ」。

一方、アメリカは、17日にカーチス・ルメイ率いる3機のB-29をグアムから千歳へ飛行させ、翌18日にはソ連の侵攻を牽制するように、千歳からアラスカ経由でシカゴまで飛行させている。

ソ連の対日戦参戦と北方四島不法占拠の根拠はヤルタ会議にある。この会議に

「占守島の九七式中戦車(千八) 夏草や兵どもが夢の跡」



歴史の舞台裏 マルタ劇場



終戦前後の日ソ衝突の経緯 (昭和20年)北海道新聞掲載

Timeline table showing military events from August 6 to September 5, 1945, including the attack on Hiroshima, the start of the war with the USSR, and the occupation of islands.

Advertisement for a 'Sailing Club Activity' (サークル活動) featuring a photo of a boat and the text '登山' (Mountaineering) and '山登り愛好会は6月28日にニセコ連山西方の岩内岳に登った。' (The mountaineering club climbed Niiseko Rannaiyama on June 28th).

Advertisement for a 'Golf Club' (ゴルフ) with the text '千鷲球会は7月18日に「ちとせインターゴルフクラブ」で7月例会を実施、寺井会員が優勝した。' (The Chitose Golf Club held a July meeting at the Inter Golf Club, and member Terai won).

Advertisement for the 'Chitose Kikyo Club' (千鷲会) with a group photo and the text '千鷲会会員状況 令和7年6月8日現在 正会員 326名 賛助会員 団体16社 個人25名'.

Advertisement for 'New Members' (新入賛助会員) listing names and their locations, such as '遠藤由美(埼玉県)・川山晃司(江北市)・野口愛(苫小牧市)'.